

# 第72号

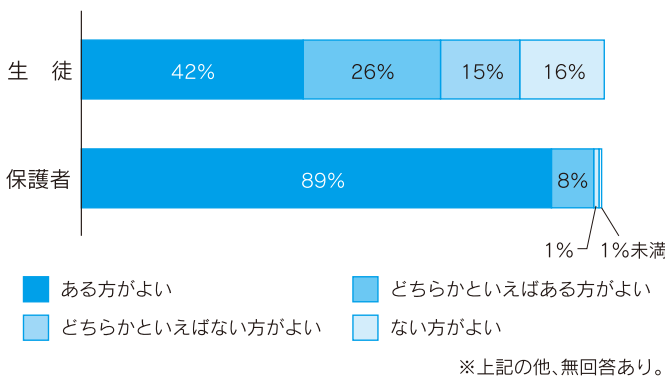
## お も な 記 事



発行：八幡市教育委員会 平成31年(2019年)3月8日  
URL <http://www.city.yawata.kyoto.jp/>

- 中学校給食のアンケート結果概要 1面 2面
- 教育施設改修工事の状況 3面
- 寄贈 3面
- 各幼稚園（こども園）の取組 4面

給食の実施について



【給食の実施について】  
給食が「ある方がよい」または「どちらかといえばある方がよい」と回答した割合は、生徒は68%、保護者は97%でした。その主な理由は、生徒・保護者ともに弁当を作ってもらう（作る）ことを負担に感じていることでした。また、生徒・保護者に共通して「栄養バランスがよい」や「いろいろなメニューを食べ

**中学校給食に関するアンケートの結果の概要**  
平成29年5月に、中学校給食を市内全中学校で開始してから、約2年が経過しました。よりよい給食を行うために、中学生全員とその保護者を対象とし、「中学生の食生活と給食に関するアンケート調査」を実施しましたので、その結果の概要をお知らせします。

られる」を選択した人が多い他、「その他」の自由記述において、弁当とは違って汁物などの温かいものを食べられることを理由として挙げた人もいました。  
一方で、給食が「ない方がよい」

または「どちらかといえはない方がよい」と回答した生徒は31%、保護者は約2%でした。その主な理由は、生徒・保護者ともに「家で作った弁当を食べたい（食べさせたい）」でした。

問. 給食がある方がよい理由は？ (複数選択可)	生徒
弁当作りは負担だと思う	61%
栄養バランスがよい	44%
いろいろなメニューを食べられる	41%
おいしい	40%
弁当だと荷物になる	40%
みんなで同じものを食べられる	11%
その他	3%

問. 給食がある方がよい理由は？ (複数選択可)	保護者
弁当作りの負担が減る	78%
栄養バランスがよい	85%
いろいろなメニューを食べられる	74%
給食の方が経済的	18%
弁当だと荷物になる	16%
みんなで同じものを食べられる	25%
家庭での食育のきっかけとなる	11%
その他	4%

問. 給食がない方がよい理由は？ (複数選択可)	生徒
家で作った弁当を食べたい	77%
食べたい量に合わない	32%
嫌いなものも食べなくてはいけない	25%
おいしくない	38%
当番活動が嫌	44%
その他	5%

問. 給食がない方がよい理由は？ (複数選択可)	保護者
家で作った弁当を食べさせたい	47%
子どもの食べたい量に合わない	32%
嫌いなものも食べなくてはいけない	16%
給食費の負担が大きい	32%
市販のパン・おにぎり等で対応できる	16%
家で作った弁当の方が、親子のコミュニケーションがとれる	21%
その他	26%

## 【給食に対する声】

給食について最も大切だと思うことは、「味」、保護者では「栄養バランス」と回答した割合が高い結果となりました。

生徒からは、給食はおいしく、量や温度についても適切であるといった意見が多数ありました。また、給食に苦手な食材が出てもしっかり食べようとする生徒が多いこともわかりました。調理校である小学校から

保温ができた状態で給食を配送することは課題の一つでしたが、今回実施したアンケートの結果から、生徒たちには温かくおいしい給食を提供することができていることがわかり、課題の解消につながっていると考えています。

## 【給食への期待】

生徒・保護者からは、今後の八幡市の給食に対して、「おいしさ」や「安心・安全性」、「栄養バランスの良さ」

について大きな期待をいただいています。

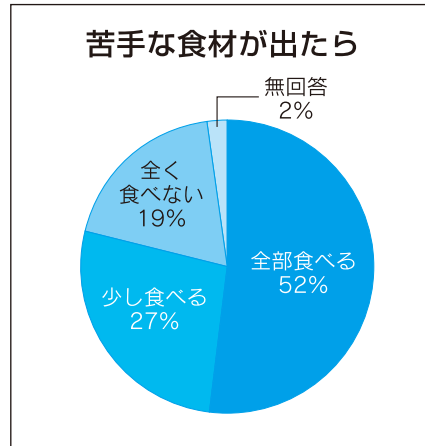
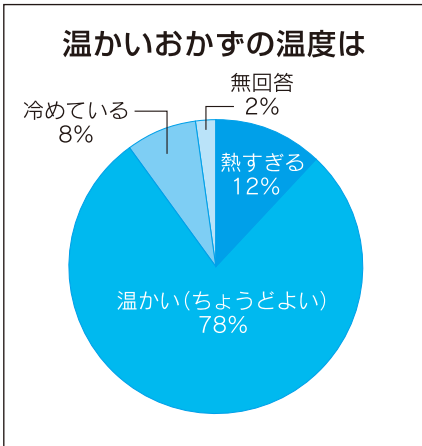
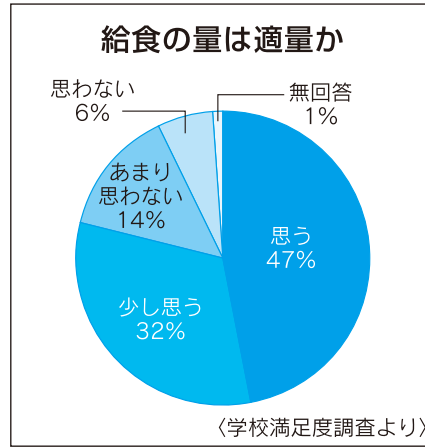
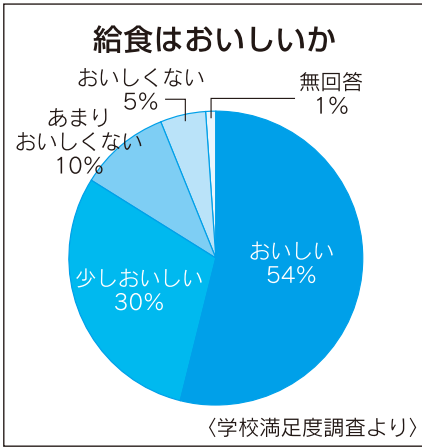
平成24年度に実施した「児童生徒の食生活と昼食に関するアンケート調査」(以下、昼食アンケート)では、当時、家庭で作った弁当を持たせていた中学生の保護者が、弁当の課題として最も感じていたことは、「夏場は傷みややすく、不安である」ことでした。今回実施したアンケートにおいても、給食が「ある方がよい」と答えた保護者で、「その他」の自由記述において、「夏場の弁当は傷みややすく、食中毒が不安であるから、給食がよい」といった意見が複数みられました。栄養バランスだけでなく、子どもが食べる食事の安全性を重視する保護者が多いなか、安心・安全な給食を提供することはとても重要

なことであると考えます。

また、昼食アンケートにおいて、当時の中学生の約1割が、週に1回以上、昼食としてパンやおにぎりを食べていることがわかりました。心身の成長が著しい中学生にとって、栄養バランスの良い食事をとることは大切です。給食を通じて食の基本を身につけ、それが大人になってからの食生活にも反映されるよう、食育の一環として、今後も大きな役割を果たすことができように取り組みしていきたいと考えています。

今回実施したアンケートを基に、生徒や保護者の期待に応えることができるよう、さらにおいしく、また安心・安全な給食を実施してまいります。

(学校教育課)



問. 給食について最も大切だと思うことは? (1つ選択) ※重複回答あり	生徒	保護者
栄養バランス	35%	67%
味	39%	19%
安全性	25%	24%
分量	4%	2%
価格	1%	1%未満
その他	1%未満	1%未満

問. 今後の八幡市の給食に期待することは? (3つ選択)	生徒	保護者
おいしさ	80%	75%
価格の安さ	11%	10%
量	22%	14%
安心・安全性	52%	66%
栄養バランスの良さ	40%	71%
メニューの豊富さ	30%	17%
楽しいイベント給食	29%	13%
季節感(行事食、旬の食材を使うなど)	16%	28%
めずらしい食材を使ったメニュー	12%	4%
その他	6%	1%未満

## 教育施設改修工事の状況

### 南山小学校トイレ 改修工事

南山小学校では、7月中旬から8月下旬にかけて、和式便器の一部を洋式便器に改修しました。

改修したトイレは、校舎の2階・3階のトイレの一部と体育館の一部の合計8か所です。温水洗浄便座が付いており、気持ちよくトイレを使うことが出来るようになりました。



### さくら小学校 廊下等改修工事

さくら小学校では、7月下旬から8月下旬にかけて、南校舎1～3階の廊下と階段の床シートを防滑性ビニルシートに貼り替える工事を行いました。

この工事により、雨天で廊下等がぬれた時でも床がすべりにくくなりました。

(教育総務課)



### 不登校など児童・生徒に関する教育相談

#### ○教育相談（電話・面接相談）

平日(月曜日～金曜日) 午前10時～午後5時  
市内在住の幼・小・中学生とその保護者の相談に応じています。学校または教育支援センターに直接申し込み、ご予約下さい。

### 不登校児童・生徒支援

#### ○カウンセラーによる教育相談や教育支援教室でサポートします。

※市内の小中学校に在籍する児童・生徒が対象です。

#### ○教育支援教室「さつき」

個別・小集団での活動や学習を通して、社会性を培うとともに、自立を促し、学校生活への適応や社会的自立を図ります。

【教育支援センター】

所在地：八幡市男山笹谷2 電話：075-982-3001

### 子どもにスマホ・ケータイを持たせるなら 子どもと話し合って家庭でルールを つくりましょう！

#### ■ ルールの例

- ◆一日のトータル使用時間は( )時間( )分以内とし、時間を大切にする。
  - ◆夜( )時以降は( )で充電し、自室などで使用しない。
  - ◆食事中は使用しない。食卓の上にも出さない。(外食時と同じ)
  - ◆写真・氏名・住所・電話番号など個人情報は、他人はもとより、自分のものでも絶対にインターネット上に公開しない。
  - ◆SNSなどで他人を傷つける行為は絶対にしない。
  - ◆有料アプリや課金アイテム等の購入の際には、事前に必ず保護者の承諾を得る。
  - ◆トラブルや不安なことがあればすぐに家族・学校に相談する。
- ※ルールを決めてからは、ルールが守られているか確認しましょう。

### 寄 贈

- 株式会社 アール様から 男山第三中学校に卓球台他41点のクラブ活動備品
- 株式会社 Living Color様から 市内小学校新入生に防犯ブザー610個

ありがとうございました。



# 平成30年度 幼稚園の取組

## 木工体験 \* \* \* \* \* 八幡幼稚園

八幡幼稚園では、年に3回木工体験を行っています。1・2学期は5歳児、3学期は4歳児が体験します。教えてくださるのは、隣接するシルバー人材センターの方です。金槌など、手にしたことがないような子どもにも「(金槌は)上から真っ直ぐに」と、コツを伝えてもらい、打った釘が曲がっても「大丈夫、抜いてあげるから、もう1回やろう」と、優しく寄り添ってくださいます。簡単な釘打ちから始めて、両親へのプレゼント、クリスマス飾りなど、できた作品を誇らしそうに子どもたちは見つめています。

シルバー人材センターの方には、月に1回三世代交流の合唱(エンゼルエコー)をはじめ、餅つきのお手伝い、保護者の方との料理教室など、様々な形で交流をお世話になっています。今後も、人と触れ合う心地よさを感じられるこの交流を大切にしていきたいと思っています。



## お店屋さん、開店です! \* \* 八幡第四幼稚園

八幡第四幼稚園では、主体的な遊びの中で心や体を動かし、発達に必要な経験を積み重ねてほしいと願い、異年齢グループ(なかよしタイム)で遊ぶ取組を進めています。秋にはお店屋さんごっこを楽しみました。「何のお店にする?」からスタート! 空き箱やカップなどの材料は家から持ち寄り、作る物もみんなで相談して決めました。そして、ハンバーガー屋、おもちゃ屋、写真屋、寿司屋が開店です。お店さんとお客さんに分かれて「いらっしゃいませ」「これ、ください」と元気な声が響きました。これからも様々な環境に興味関心をもって関わり「楽しい!」「もっとやりたい」と心を弾ませ、夢中になって遊ぶ中で、豊かな体験を積んでほしいと思っています。



## 夏まつり \* \* \* \* \* 八幡第二幼稚園

八幡第二幼稚園では、地域の民生委員・児童委員や福祉委員さん、PTAの役員のお母さんのお力をお借りして、7月に夏まつりを行いました。

毎年地域の方が、ペンシルパルーンでかわいい動物や花、剣などをつくって子どもたちにプレゼントをして下さいます。今年は、5歳児が地域の方と一緒に作り、風船を膨らますところから挑戦をしました。好きな色の風船を選び、自分のつくりたい物を伝え、一本の長い風船が徐々に形になっていくと「キュッキュ!音がする」「自分でできた!」とつぶやきながら、完成したときには満面の笑みで喜んでいました。様々な人との交流は豊かな心やつながる力を育みます。今後も地域の方に温かく支えてもらえる経験を大切にしていきたいと思っています。



## お楽しみ会で竹細工♪ \* \* \* \* 橋本幼稚園

橋本幼稚園では、子どもたちの園生活がより豊かに充実したものになるように願って、PTA主催でのお楽しみ会が、毎年数回行われています。今年も9月の誕生会に合わせて、八幡たけくらぶの方が来園され、子どもたちに竹細工教室を開催して下さいました。当日は、ほぼマンツーマンで優しい指導の下、3歳児が「うぐいす笛」4歳児が「ガリガリとんぼ」5歳児が「ぶんぶんぜみ」作りに挑戦しました。竹細工が初めての子どもたちにとって、作業が上手くできずにへこたれそうになっても「できるぞ」と励ましていただき、できた時には一緒に喜んでください「あつ、いい音してる」「なんでこんなに回るの?」と不思議もいっぱい、遊ぶ姿はとて嬉しそうでした。「八幡の竹」に親しむことができ、貴重な体験となりました。



## 小学生による絵本の読み聞かせ交流 八幡第三幼稚園

八幡第三幼稚園では、子どもたちが身近な人との触れ合いを通して経験を広げ健やかに成長することを願って、地域の方や学校、保護者の皆さんの力をお借りして様々な交流活動を行っています。

その一つとして、さくら小学校6年生の図書委員の児童が幼稚園に大型絵本の読み聞かせに来てくれました。3歳児・4歳児・5歳児それぞれのクラスに入り、あらかじめ学校で練習してきた絵本の読み聞かせを始めると、子どもたちはその優しい語り口にごっと引き込まれ、最後まで集中して見入っていました。この経験がきっかけとなり、遊びの中で読み聞かせごっこが始まり、図書委員になりきって絵本の読み合いっこを楽しむ姿がありました。

今後も豊かな経験ができるよう様々な交流活動に取り組んでいきたいと思っています。



## にこにこまつり~異年齢交流~ 有都こども園

有都こども園では、0歳児から5歳児までが在籍し、年間を通して本園ならではの異年齢交流保育を進めています。生活や遊びを共にし普段からよく関わり、幼児の部屋に乳児が遊びに来るなど、他のクラスの活動に参加しています。毎年恒例となっている「にこにこまつり」も異年齢が交流する園行事の一つです。「いらっしゃいませ〜どれにしますか?」「パンください!」「ケーキいかがですか?」お店の人になりきった5歳児が、お客さんの乳児や3・4歳児にかけるやさしい声が聞かれ、微笑ましい姿が見られます。

行事を通して自然と異年齢の触れ合いができ、小さい子に対するやさしさや接し方を学んでいます。これからも異年齢の友達との交流、育ち合いを大切にした園づくりを進めていきたいと考えています。

